



発行所
株式会社 ゴム化学新聞社
編集兼発行人 沖 政 男

東京本社
〒102-0073
東京都千代田区九段北1-4-5

E-mail
info@gomukagaku.co.jp
製作部E-mail
hensyukikaku@gomukagaku.co.jp

他の面の
主な内容

- 2面...カーボンブラック協会・16年の需
要見通しを発表、前年比増の予測
ながら年間需要量80万ト割れに
3面...全インドゴム工業会が訪日、会見
通じて日本に対する期待、交流へ
の意欲を示す
4~5面...16年3月期第3四
「ゴム製品」「化学」
自動車部品」業種の17社
6面...アシックス・15年12月
明会開催。アシックス
・プラン2015着地

国内タイヤ
メーカー3社
2015年12月期決算発表

売上高は過去最高

北米が堅調、中国も好調

横浜ゴム

横浜ゴム(野地彦彦社長)は2月12日、東京都港区の同本社で2015年度の決算発表を行った。売上高は前年同期比0.7%増の629.8億円、営業利益が同7.7%減の54.5億円、経常利益360.0万円、経常利

益が同11.6%減の4.9億3400万円、当期純利益が同10.4%減の36.3億700万円となった。年間配当は52円を予定。売上高は過去最高560.0万円、営業利益が同7.7%減の54.5億3600万円、経常利

益が同11.6%減の4.9億3400万円、当期純利益が同10.4%減の36.3億700万円となった。年間配当は52円を予定。売上高は過去最高560.0万円、営業利益が同7.7%減の54.5億3600万円、経常利

住友ゴム

当期純利益は最高値

米で非日系メーカーに拡販

住友ゴム工業(池田育嗣社長)は2月12日、東京都千代田区のステーションコンファレンス東京

で平成27年12月期の決算を発表した。売上高は前年同期比0.3%減の788.9億400万円、当期純利益

は前年同期比10.6%増の770億6700万円、経常利益が前期比10.3%減の788.9億9400万円、当期純利益

は前年同期比10.6%増の770億6700万円、経常利益が前期比10.3%減の788.9億9400万円、当期純利益

は前年同期比10.6%増の770億6700万円、経常利益が前期比10.3%減の788.9億9400万円、当期純利益

は前年同期比10.6%増の770億6700万円、経常利益が前期比10.3%減の788.9億9400万円、当期純利益

全インドゴム工業会が訪日

日本に期待、交流に意欲示す

インド全土の中堅・中小のゴム関連企業約1300社で構成する「全インドゴム工業会(ALL INDIA RUBBER INDUSTRY ASSOCIATION)」の日本視察団が来日し、2月12日、東京都港区のANAインターコンチネンタルホテル東京で業界紙向けの会見を行った。

同工業会はタイヤを除く自動車部品、コンベヤベルトやVベルト、ホースなどを主に扱う企業が属し、インド国内のゴム企業の発展、輸出振興などをサポートする団体として1945年に設立。インドの各工業会の中でも歴史のある団体として活動してきている。インド国内では日頃、地域ごとに4つのゴム工業会に分かれ活動しているといふ。今回の来日は加盟企業から13人が参加した。

モヘンデル・グプタ会長は来日の目的について「日本のゴム業界との交流が、日本企業との間で携わっている覚書を取り交わした。提携による販売開始日は本年2月15日。

からの技術供与・提携を呼びかけるために訪れた」と説明。「インドの技術はまだ低いレベルだが、スキルアップを目指している。安価で若い労働力も多く、成長の勢い坂に差し掛かったところとも言え、これからグン

グンと伸びていくだろう。日本のゴム作りを学ぶことで技術力もアップさせていきたい」とも述べ、戦略的提携、技術移転、下請けパートナーシップ、輸出入のタイアップなどインドで製造し輸出を行っていくことの魅



モヘンデル・グプタ会長(手前)と日本ゴム工業会代表のメンバー。左からモヘンデル・グプタ会長、日本ゴム工業会代表のメンバー。

三葉製作所と販売提携

日本スピンドル製造(有藤博社長)は、三葉製作所(堀内健一社長)との間で、日本スピンドル製造産機モリヤマ事業部のモリヤマ製品と、三葉製作所製品との販売提携に関する覚書を取り交わした。提携による販売開始日は本年2月15日。

は「出展はもちろん、来訪者として会場に足を運んでほしい。次回は3万人の来場を見込んでいて、出展者も7割程度埋まってきた。こうしたことをきっかけに中堅企業同士のコラボレーションを期待したい」と抱負を語った。

視察団は8~13日の滞在で日本商工会議所国際部や日本ゴム工業会、日本企業との懇談をはじめ、国内の材料メーカーや成形メーカーなども見学した。

しゅう動部にも最適 高機能シールブレード発売

化学工業(吉井満)は、工作機械に最適なシールブレード「バンドーワイ」を開発した。このブレードは、高機能なシールブレードとして最適で、幅広い用途に利用されている。図5-1に各種エラストマーの硬度を、図5-2に硬さの概念図を示す。

図5-1に各種エラストマーの硬度を、図5-2に硬さの概念図を示す。

図5-1に各種エラストマーの硬度を、図5-2に硬さの概念図を示す。

力やメリットなどについても説明した。

また、同工業会では隔年開催でゴム関連企業が出展するアジア最大(中国除く)の展示会「インドラバーEXPO」を行っている。昨年は約5000社が出展し、2万5000人が来場。ただ、日本企業の出展が数社程度にとどまっていることから、来年1月の同展では日本企業とのさらなる出展を促進させたいとPR活動も行った。同展を担当するK.T.トーマス委員長

葛飾ゴム工業会 新年賀詞交歓会開催 結束と研さんで発展誓う

葛飾ゴム工業会(藤井直行会長)は2月3日、東京都葛飾区のかつしかシンフォニーヒルズで平成28年新年賀詞交歓会を行った。

藤井会長は「先月、第2回町工場見本市が開催され、会員各位にも参加してもらい、数ある産業の中でもゴム産業の位置付けをさらに高められたと思っている。しかし、世界の政治の混乱、原油価格の下落、為替などい方向に進まない状況が



藤井会長

対象機種は、日本スピンドル製造が手掛ける混練機・押出機など、産機モリヤマ事業部のモリヤマ製品すべてと、三葉製作所

対象機種は、日本スピンドル製造が手掛ける混練機・押出機など、産機モリヤマ事業部のモリヤマ製品すべてと、三葉製作

ゴムの基本が

長崎県立大学特別研究員 光雄氏

1、靴底材、吸音材、手袋・指サックなどの用途に広く利用されています。

2に硬さの概念図を示す。

図5-1に各種エラストマーの硬度を、図5-2に硬さの概念図を示す。